

第 26 回俳句甲子園全国大会レポート～その 1～

俳都松山の夏の風物詩「俳句甲子園」。4年ぶりに一般開催（有観客）で試合を行うことができます。海城からは A・B、2チームが出場。4年連続 7 回目の出場となります。一昨年はベスト 4、昨年は準優勝。さて今年は…。

本日昼過ぎに松山入り。夕刻より、抽選会とウェルカムパーティー。パーティーも 4 年ぶりの開催。OB OG の手作りによる温かい会です。会の終了後、敗者復活戦用の句のエントリーなども済ませました。

明日は開会式の後、待ちに待った大街道商店街特設会場での予選となります。2 チームとも、実力を遺憾なく発揮し、ぜひ予選突破を果たしてください！

俳句のひとたちの活躍、ご期待くださいませ。

羽田空港から出発する直前。記念撮影です。



抽選会の様子。



敗者復活戦用の句を考えます。使うことなく、予選突破が理想ではありますが…



第 26 回俳句甲子園全国大会レポート～その 2～

8月19日(土)、今日は開会式、そして予選リーグの日になります。場所は松山市最大の繁華街である大街道アーケード商店街。屋根はあるとはいえ、屋外での試合は暑さとの戦いでもあります。

開会式です。



予選リーグは、4校による総当たり戦。勝ち抜けば、お隣りのブロックの勝者と決勝リーグ進出をかけた戦いに進めます。

AB それぞれ以下のような学校と同グループとなりました。



A チームは、北海道代表・旭川東高校、東京代表・立教池袋高校 B、大阪代表・灘高校とのブロックに。立教池袋 B、旭川東、そして海城の 3 校が 2 勝 1 敗で並ぶ大激戦となりました。わずか旗一本の差で見事ブロック突破を果たしました。



B チームは、山形代表・山形東高校、福島代表・磐城高校、沖縄代表・興南高校とのブロックに。地方予選で一勝もできなかった若いチームが、あれよあれよと勝ち

進み、全勝でAチームに続き、ブロック突破を果たしました。



決勝リーグ進出をかけた、Aチームは東京代表開成高校と、Bチームは名古屋高校Aと対戦。白熱した好勝負となりましたがともに惜しくも決勝リーグ進出を決めることはできませんでした。

明日はいよいよ決勝リーグが松山市総合コミュニティセンターで開催されます。決勝リーグ進出校は全部で6校。うち4校は本日の予選リーグで決定しています。残り2校は明日決勝リーグに先駆けて行われる敗者復活戦で決定します。そう、実はまだ決勝リーグ進出の可能性は残されているのです。海城のダブル進出はあるのか。敗者復活戦は決勝リーグの前に行われます。

それでは明日またお会いします。



第 26 回俳句甲子園全国大会レポート～その 3～

本日 8 月 20 日(日)は、待ちに待った決勝リーグ・決勝戦の日。俳句甲子園の聖地、松山市コミュニケーションセンターが決戦の地となります。

決勝リーグに先立ち行われたのは、敗者復活戦。敗者復活戦は、初日の抽選会後に投句した句を審査員の先生方があらかじめ審査し、まず選ばれた 9 校 9 句が発表されました。ちなみに敗者復活戦の兼題は「後」の字を読み込む字題。実は AB 両チームとも、前日の予選でグループ突破を果たしているため、敗者復活戦に参加する資格を得ていました。すぐさま選ばれし 9 校は、そのまま審査員の先生方との質疑応答に入ります。句の作品点と自身の句に対する理解の深さを点数化し、上位 2 校が敗者復活となります。最後のチャンスを生かそうと壇上で懸命に句の魅力を語ります。



審査の結果、見事復活を遂げたのは、山形代表・山形東高校、北海道代表・旭川東高校の2校。海城の今大会はここで幕を閉じることとなりました。偉大な先輩たちには及びませんでした。AB両チームとも昨年度に続き、見事グループリーグ突破。全国ベスト8となりました。表彰式では団体奨励賞をいただきました。



表彰式の模様をレポートいたします。

表彰はまずは団体表彰から。

優勝は、海城を予選最終戦で破った開成高校。これで開成は4連覇となりました。

引き続き個人表彰へ。海城からは入選句20句の中に2名が選出されました。

遠藤泰介

小鳥来る帽の小銭に札埋もれ

深井直輝

朝焼に引き波の貝止まりけり



昨年度までのメンバーがすべて引退し、一からチームを作り直すところからスタートした今シーズン。時間はかかりましたが、部長の柿木を中心とした一体感のある良いチームとなりました。俳句に興味を持ってくれる人たちの増加で、来シーズンは今までにない大所帯で臨むこととなりそうです。来年もまたこの松山の地に必ず帰ってきます!!

